会われたたった一人の方は池田先生である。私もその場にいたので証人である。淳師は宗門のことを何とかお願いしますと、切々と池田先生の手をにぎられながら頼まれていた

池田先生は「私にお任せ下さい。日淳猊下のお心にそって、宗門をお守りします」と答えておられた

故に、日淳上人から最後の遺言をうけたたった一人の方が池田先生であられる。

その時に、宗門と学会は絶対に分裂してはいけない、と思い、ありがたく、その場にいた

そこに成田師もいました

ところがその後日淳上人と違う方向に行ってしまったことが残念である

教学の狂いについては、今の猊下は日淳上人の意志に反したことをやった

日淳上人は最後の一週間、富士見庵で静養されていた。その時のことを淳師がいたくなって向こうから、今の猊下から私に聞かれた

今の猊下は私に日淳上人は晩年どういう本を読まれていたか、という問い合わせであった

私の一存と思われてはいけないと思い奥様にも問い合わせて確認した